

目次

出願から入学手続きまでの流れ	1
----------------	---

募集内容・出願資格

1. 社会人入学者特別選抜	2
2. 編入学者選抜	5
3. 出願書類	8
4. グローバル・コミュニケーション学群の面接方法について	9

個別の入学資格審査

「個別の入学資格審査」について	10
-----------------	----

出願手続

1. 出願上の注意	11
2. 検定料	11
3. デジタル受験票	11
4. 試験当日の注意	12
5. 受験生の宿泊施設	12

合否照会・入学手続

1. 合否照会・合格通知 (振込用紙)	13
2. 入学手続等 (学納金の納入について)	13
3. 学納金	14

その他

1. 奨学金制度等	16
2. 学生寮	16
3. 住まい紹介	17
4. 入学後の学生生活について	17
5. 個人情報の取り扱いについて	17
6. ビジネスマネジメント学群のキャンパス移転について	17

出願様式編

入学志願者調書／読書レポート／志望理由書／
活動報告書 (芸術文化学群版)／小論文／
Airline Hospitality Course -Application Form-／
個別の入学資格審査申請書

桜美林学園のミッション(使命)

桜美林学園の使命は、キリスト教主義に基づく人間教育を通して、神、人間及び社会のために貢献する人間を育成することです。それは、どのような環境の中にあっても、常に未来に希望を持ち、他者の痛みを理解できる人間でなければなりません。また、現代社会の多様な価値観に対応でき且つ創造力と判断力に富んだ人間を育てることです。

桜美林大学の教育目標

桜美林大学は、教育基本法及び学校教育法の定めるところに従い、豊かな人間性を涵養するため幅広い知識を授けるとともに、専門学芸の研究と教育を行い、キリスト教精神に基づいた教養豊かな識見の高い国際的人材を育成することを目的としています。

各学群の養成する人材等

■ リベラルアーツ学群

広範な知識と深い専門性に裏付けられた思考力、分析力、柔軟な発想力を身につけた人間性豊かな人材の養成等を目的として、総合的教養及び専門的基礎学術に係る教育等を行います。

■ グローバル・コミュニケーション学群

語学に長け、コミュニケーション能力が高く、分析や創造を伴う思考力と問題解決に向けた計画力や実行力を有する人材の養成等を目的とし、協働活動を通してグローバルリーダーシップの基礎基本を修養できる教育等を行います。

■ ビジネスマネジメント学群

● ビジネスマネジメント学類

国際社会に必要なビジネス感覚を養い、広範な知識から発想し、意思決定の行える、新しい経営マインドを備えた人材の養成等を目的として、幅広い職業人養成に係る教育等を行います。

● アピエーションマネジメント学類

確かな知識・技術を身につけ、新しい経営マインドを備えた航空業界で活躍する人材の養成等を目的として、専門的な職業人養成に係る教育等を行います。

■ 健康福祉学群

専門領域における確かな知識・技術を身につけ、人々の願い、悩み、喜びに共感できる、感性豊かな人間性をそなえた健康と福祉のエキスパートの養成等を目的として、専門的な職業人養成に係る教育等を行います。

■ 芸術文化学群

演劇、音楽、造形デザイン、映画等の分野を幅広く追求し、アートの専門家として社会に通用するスキルを身につけた人材の養成等を目的として、総合的文化教育(芸術系分野)に係る教育等を行います。

桜美林大学のアドミッションポリシー (学生の受入れ方針)

1. 輩出する学生像

桜美林学園のミッションは、キリスト教の精神を礎とし、教育や研究において誠実に真理を求め、隣人を思いやる心を持って、仕えることのできる人材を大学での学びと経験を通じて世に送り出すことです。

1921年5月に中国・北京から始まった学園の歴史的な観点を鑑みてもグローバル社会での活躍に必要な不可欠な外国語運用能力、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を全ての学生に身につけさせます。さらに予測不可能な様々な社会問題を解決に導くことのできる教養を高め、これからの社会を担う人材を輩出することにあります。

2. 求める入学者

本学は、このミッションに共感し、本学の教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心を持てる学生等であることを期待します。また、主体的に学び、経験を積む姿勢、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人々とコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

3. 入学までに身につけて欲しい能力と選抜方法

入学を希望する学生等には、以下の3点を身につけて入学してくることを求めます。

なお、選抜方法は、学群の特性も踏まえ、多様な入学者選抜制度を駆使して多角的に評価します。

- ①高等学校の学習指導要領に基づく学習範囲の知識・技能を修得していること。
(海外からの応募者はそれぞれの国や地域の高等学校までの課程を修了していること)
- ②高等学校までの学習や諸活動を通じて、様々な課題や困難に向き合い、その解決のために試行錯誤を繰り返す中で身につけた「思考力、判断力、表現力」があること。
- ③高等学校までの学習、部活動や外部のコミュニティ活動での共生、協働を通して、主体性や積極性を持って、チーム等で目標や課題に取り組んできた経験を有すること。

4. 入学者選抜の基本方針

「キリスト教精神を礎として、教育を通してグローバルな社会に貢献する人を育成する」ことが桜美林学園の建学の理念です。

また、学園の行動指針である「学而事人(がくじじじん) (学んだことを人や社会のために役立てる) の精神を受け継ぎ、学園から巣立った後、困難な課題にも立ち向かい社会で活躍することが期待されています。これからの社会に、「グローバルな人材」「『学而事人』の精神を受け継ぐ人材」を輩出しようとする本学は、教育システムの特長である学群制の中で、自らが学修を希望する専門領域にとどまることなく幅広い視野で隣接した学問分野に興味関心を持てる学生等であることを期待しています。

そして、主体的に学び、経験を積み、国や地域を越えて異なる価値観を持つ人々とコミュニケーションができる力を持つ学生等を国や地域を問わず幅広く求めます。

社会人入学者特別選抜／編入学者選抜

建学の理念に基づき多様な人々とともに学べる教育環境の構築を目指し、留学生、社会人、編入学者を積極的に受け入れています。

それぞれの学群での教育を受けるために必要な「基礎学力(知識・技能)」だけでなく、諸外国・社会・他大学での学習や諸活動を通して身につけた「思考力・判断力・表現力」を評価します。

【特定の学群やコースでの評価について】

●芸術文化学群

各専修において、実技審査(作品審査を含む)または小論文と面接にて適性を評価します。

●グローバル・コミュニケーション学群

語学力やコミュニケーション力を評価するため、外国語(入学後に学修を希望する主たる言語)による面接も行います。

学群別アドミッションポリシー (学生の受入れ方針)

■ リベラルアーツ学群

本学群は、学際的な幅広い教養を獲得し、問題に多角的なアプローチから対処できる能力を身につけた「自立した学習者」(IndependentLearner)を育成していきます。

そのため、本学群の学びでは、人文学、社会科学、自然科学の幅広い学問に触れることから始まります。

加えて、留学やサービス・ラーニングなどの体験を通して、自らが深い興味関心を抱いた事柄や、関わりを持ったコミュニティや社会の課題と向き合い専門性を身につけていきます。

これは、未来を予測することが困難な時代の中で、生き抜くためには、自己自立や他者との協働を図るための主体的な力、グローバル化にともない多様な価値を認める寛容さが求められているからです。

【求める学生像】

本学群では、この教育システムに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望み、これからの時代に自らの学びと経験を以て、貢献しようとする人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3) 広い分野の基礎的学力と専門分野への強い関心を有する者
- (4) 新しい分野への探求心と新たな体験へ挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ グローバル・コミュニケーション学群

グローバル化が加速する今日の社会において、高度な外国語コミュニケーション能力を基盤として、自らが関わるコミュニティの様々な課題に向き合い、積極的に課題解決に取り組むことのできる人材が必要とされています。

本学群では、基礎となる高度な外国語運用能力を修得します。その上で、直面する問題や課題に対し、多角的な視野と知識をもとに思考と分析を行い「実行可能な解決策を提示できる人材」、具体的かつ論理的に説明・説得するための「高いコミュニケーション能力を持つ人材」、コミュニティにおいて中核的な存在として「課題解決に向けてリーダーシップを発揮する人材」を育成していきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者(特に外国語運用能力)
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3) 世界の国や地域、及び自国に対して強い関心を有する者

(4) グローバルな社会において積極的に学修や経験に挑戦する意欲を有する者

(5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ ビジネスマネジメント学群

本学群は、「国際性」に優れ、「奉仕の精神」と「おもてなしの心」、「コミュニケーション能力」と「情報リテラシー」を兼ね備えた人材を育成します。

さらに、所属する企業や各種機関、コミュニティにおいて、予測不可能な様々な課題に向き合い、「マネジメント能力」を駆使して、積極的に課題解決に取り組むことのできる力を身につけさせます。

特に、学修過程においては、理論と実践のバランスのとれた「マネジメント能力」を養うためにインターンシップ等の実習体験を積極的に展開していきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3) 社会の出来事、国や地域、企業などの取り組みに強い関心を有する者
- (4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 健康福祉学群

本学群は、加速する少子高齢化社会や多様化かつ高度化する福祉ニーズに対応できるプロフェッショナルを育成することを目的としています。

これらの分野で活躍するためには、乳幼児から高齢者までの人間の成長、発達や生活に関心を持ち、一つの専門領域にとどまることなく、広い範囲の知識や技術を身につけ、多角的な観点から総合的にものごとを考える力が必要となります。また、人々の願い、悩み、喜びに共感できる人間性も求められます。

そこで、学群制という教育システムに、「社会福祉」「精神保健福祉」「健康科学」「保育」の4つの隣接する学問領域を配置し、自らが興味関心を抱いたテーマやコミュニティ、社会の課題に取り組む中で、必要とされる実践力を身につけていきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (3) 人々の健康、こころ、からだ、福祉に強い関心を有する者
- (4) 社会と積極的に関わりを持ち、様々な課題に対して挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

■ 芸術文化学群

グローバル化する社会において、他者理解を行う上で人間の営みと密接な関わりを持つ文化に対して、理論や歴史、表現を学ぶことは、多様な文化的背景を持つ人々とともに生きる力を身につけることになります。また、様々な創作活動の中で行われる試行錯誤は、予測困難な問題を解決に導くことのできる素養を高めることとなり、こうした力を持つ人材が、これからの社会で求められます。

一方、芸術の創作活動を通じて社会における芸術文化の発展に寄与する人材、専門家として作品やパフォーマンスを提供する人材は、高度な知識基盤社会において必要不可欠な存在であります。

本学群は、学群制という教育システムを通して、「演劇・ダンス」「音楽」「ビジュアル・アーツ」の三つの隣接する学問領域を配置し、自らが深い興味関心を抱いた表現やコミュニケーション方法と向き合う中で、必要とされる専門的知識と技術を身につけていきます。

【求める学生像】

本学群では、この教育の考えに共感し、学群での学修や経験を通して、成長を望む人たちを国や地域を問わず求めます。

また、ここでの学びをはじめようとする人たちには、以下の素養を身につけておくことを求め、各選抜において、その資質をはかります。

- (1) 高等学校までに身につけておくべき基礎学力を有する者
- (2) 創作活動や芸術鑑賞を通して、芸術の学術的な学びに求められる意欲と関心を有する者
- (3) 自ら進んで学ぶ強い意欲と自立心を有する者
- (4) 芸術、文化、人、表現、コミュニケーション等に強い関心を持ち、創作活動やアートマネジメント等に積極的に挑戦する意欲を有する者
- (5) 建学の理念を理解し、他者に奉仕し、ともに向上する意欲を有する者

出願から入学手続きまでの流れ



募集内容・出願資格

1. 社会人入学者特別選抜

検定料 35,000 円

① 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、2019年4月1日現在23歳に達している者で、社会人経験が3年以上ある者（主婦等を含む）。ただし、大学受験のために試験勉強をしていた者は「社会人」としてみなさない。なお、日本国籍あるいは日本の「永住権」「定住権」を取得している者を対象とする。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
2. 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者
3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程一覧※1）又は研修施設（文部科学大臣指定研修施設一覧※2）の課程を修了し、18歳以上である必要がある。）
※「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
4. 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程一覧）又は研修施設（文部科学大臣指定研修施設一覧）の課程を修了する必要がある。）
※合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
5. 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程（文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧※3）を修了した者
6. 我が国において、外国の高等学校相当として指定した外国人学校（我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧※4）を修了した18歳以上の者（12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程（文部科学大臣指定準備教育課程一覧）を修了する必要がある。）
7. 高等学校と同等と認定された在外教育施設（文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧※5）の課程を修了した者
8. 指定された専修学校の高等課程（文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧※6）を修了した者
9. 旧制学校等を修了した者
10. 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEALレベルを保有する18歳以上の者
11. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設（国際的な評価団体認定外国人学校について※7）の12年の課程を修了した18歳以上の者
※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したのものについても入学資格が認められます。
12. 高等学校卒業程度認定試験（旧大検）に合格した者
（なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。）
13. 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、23歳に達した者
※上記13で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続きが必要です。P.10を確認のうえ、手続きを行ってください。

- （※1）文部科学大臣指定準備教育課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/001.htm
- （※2）文部科学大臣指定研修施設一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/002.htm
- （※3）文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1380756.htm
- （※4）我が国において、高等学校相当として指定した外国人学校一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/003.htm
- （※5）文部科学大臣認定等在外教育施設（高等部を設置するもの）一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/004.htm
- （※6）文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/1234679.htm
- （※7）国際的な評価団体認定外国人学校について
www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shikaku/07111314/006.htm

② 募集学群・募集人員

学群・専修		募集人員
リベラルアーツ学群		若干名
グローバル・コミュニケーション学群		若干名
ビジネスマネジメント学群*		若干名
健康福祉学群	社会福祉専修	若干名
	精神保健福祉専修	
	健康科学専修	
	保育専修	
芸術文化学群	演劇・ダンス専修	若干名
	音楽専修	
	ビジュアル・アーツ専修	

* 社会人入学者特別選抜におけるビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類フライト・オペレーション(パイロット養成)コースの募集はありません。

重要

ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類の所属コース決定について

ビジネスマネジメント学群およびアビエーションマネジメント学類はビジネスマネジメント学群としての一括募集となります。アビエーションマネジメント学類「エアライン・ビジネスコース」と「エアライン・ホスピタリティコース」を希望する者は、1年次秋学期(2セメスター目)にコース決定のための審査があり、その結果により、所属学類と所属コースが決定いたします。

重要

グローバル・コミュニケーション学群

グローバル・コミュニケーション学類の希望の言語について

グローバル・コミュニケーション学群グローバル・コミュニケーション学類には「英語特別専修」「中国語特別専修」「日本語特別専修」「グローバル教養専修」の4つの専修がありますが、一括募集となります。ただし、出願の際に、入学後、学修を希望する主たる言語(英語・中国語・日本語※)を選択する欄があります。なお、グローバル教養専修を希望する者についても、入学後、学修を希望する主たる言語を一つ決める必要がありますので、現時点で学修を希望する主たる言語を選択してください。この選択は可否には一切関係しません。

※入学後に学修を希望する主たる言語として母語は選択できません。母語とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

③ 出願期間等の日程

日 程		社会人入学者選抜
インターネット出願	出願登録	10月15日(月)～10月22日(月)
		最終日は正午(12時)まで
	検定料支払期限	10月22日(月)
		※出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。 出願登録後、お早めに検定料をお支払いください。
出願書類提出期限	10月22日(月)	
	消印有効	
デジタル受験票発行開始日		11月9日(金)
		15時から順次発行 ※集合時間等の詳細については、インターネット出願サイト「マイページ」で「デジタル受験票」を発行・印刷し、確認してください。
試験日		11月17日(土)
試験会場		町田キャンパス
合格発表日		11月26日(月)
		合否照会は10時から可能です。 合格者のみ正午(12時)から合格通知(振込用紙)が確認できます。
入学手続締切日(入学金+春学期納入金)		12月5日(水)一括納入

4 選抜方法

学群	選抜方法
リベラルアーツ学群	面接 ー10分ー ・ 課題図書の内容理解度を含む。課題図書は⑤ 課題図書で確認してください。 ・ 面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。
ビジネスマネジメント学群	
健康福祉学群	
グローバル・コミュニケーション学群	面接 ー20分ー ・ 課題図書の内容理解度を含む。課題図書は⑤ 課題図書で確認してください。 ・ 面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接方法はP.9 (4.グローバル・コミュニケーション学群の面接方法について) で確認してください。
芸術文化学群	面接 ー15分ー ・ 事前提出した小論文の内容を含む。 ・ 面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。

5 課題図書

各学群指定の課題図書を読み、読書レポート **様式2** にまとめてください。読書レポートは、全体の内容を要約したうえで、特に印象に残った点に触れながら、自分の考えや感想を600字～800字程度の範囲で論じるものです(芸術文化学群は課題図書はありません)。

※雑誌やインターネット等に掲載されている書評の一部または全体を書き写した場合は、評価対象となりません。

学 群	課題図書
リベラルアーツ学群	①『人工知能と経済の未来—2030年雇用大崩壊』井上智洋(文春新書) ②『昆虫はすごい』丸山宗利(光文社新書) *上記2冊から1冊選択のこと
グローバル・コミュニケーション学群	①『目の見えない人は世界をどう見ているのか』伊藤亜紗(光文社新書) ②『A Short History of Progress』Ronald Wright(Da Capo Press) *上記2冊から1冊選択のこと
ビジネスマネジメント学群	①『第4次産業革命!日本経済をこう変える。』竹中平蔵(PHPビジネス新書) ②『それ、なんで流行ってるの?隠れたニーズを見つけるインサイト思考』原田曜平(ディスカヴァー携書) *上記2冊から1冊選択のこと
健康福祉学群	『人権読本』鎌田慧(岩波ジュニア新書)

6 出願書類について

詳細はP.8 (3.出願書類) で確認してください。

7 合格発表について

P.13 (1.合否照会・合格通知(振込用紙)) で確認してください。

2. 編入学者選抜

〈編入学者選抜注意事項〉

- リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群ビジネスマネジメント学類、グローバル・コミュニケーション学群、健康福祉学群、芸術文化学群においては、3年次生としての受け入れです。
- ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類においては、エアライン・ホスピタリティコースを志望する場合は3年次生ではなく、2年次生の受け入れになります。
- 入学後に行われる既修得単位認定の状況によっては、編入学後2年間もしくは3年間の在学では卒業できない場合があります。
- リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群はそのカリキュラムの特徴から、編入学後2年間の在学では卒業が困難となる場合があります。
- ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコース編入学生は、在学中(第2年次秋学期または第3年次秋学期)にエアライン・ホスピタリティコース留学プログラムに参加することを原則とします。
- 健康福祉学群を志望する者のうち、「社会福祉士国家試験受験資格」「精神保健福祉士国家試験受験資格」の各資格取得を目的としている場合、当該実習の要件などもあり、2年間の在学では卒業は非常に困難です。
- 芸術文化学群映画専修は、当該実習の都合上、2年間の在学では資格取得および卒業は非常に困難です。
- 編入学後、卒業時に教育職員免許状の授与を希望している場合、2年間の在学では当該所要資格を充足することは困難です。
- 健康福祉学群保育専修は、編入学者選抜の募集は行いません。

1 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者または2019年3月31日までに該当する見込みの者

1. 大学を卒業した者または大学に2年以上在籍した者、または2019年3月末に2年次終了見込みの者
2. 短期大学、高等専門学校、国立工業教員養成所または国立養護教諭養成所を卒業した者
3. 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)附則第7条に定める高等学校、専門学校または教員養成諸学校等の課程を修了し、または卒業した者
4. 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすものを修了した者(但し、学校教育法第90条に規定する大学入学資格を有する者に限る。)
 - 1) 文部科学大臣の定める基準は修業年限が2年以上でかつ、課程の修了に必要な総授業時間が定められた授業時間以上であること。
 - 2) 平成6年6月21日文部科学省告示第84号の規定により専門士の称号の付与が認められた課程を修了した者、平成6年以前に修了した者はインフォメーションセンターに問い合わせること。
5. 修業年限が2年以上その他の文部科学大臣が定める基準を満たす高等学校専攻科修了者(学校教育法施行規則第100の2)
6. 本学において、個別の入学資格審査により、14年の課程修了と同等の学力があると認められた者で、23歳に達した者。

※上記6で出願を希望する場合は、出願前に入学資格審査の手続きが必要です。P.10を確認のうえ、手続きを行ってください。

- 〈一般選抜対象者〉 上記の1.~5.のいずれかに該当する者で、P.6 (2) 募集学群・募集人員・出願条件)の「一般選抜の出願条件」を満たす者。
- 〈沖縄地区会場〉 上記の1.~5.のいずれかに該当する者で、沖縄の大学・短期大学・専門学校・高等専門学校・高等学校専攻科を卒業して3年未満の者(見込みの者)または、沖縄の大学等を2019年3月に2年次終了見込みの者。さらに、P.6 (2) 募集学群・募集人員・出願条件)の「沖縄地区会場の出願条件」を満たす者。
(会場はP.7 8 沖縄地区会場の所在地で確認してください)
- 〈社会人選抜対象者〉 上記1.~6.のいずれかの出願資格を有しており、2019年4月1日現在23歳に達している者で、社会人(主婦等を含む)経験が3年以上ある者(2019年4月入学時に3年目を終える者を含む)。大学受験のために試験勉強をしていた者は「社会人」としてみなさない。さらに、P.6 (2) 募集学群・募集人員・出願条件)の「社会人」の出願条件を満たす者。
なお、日本国籍あるいは日本の「永住権」「定住権」の在留資格を取得している者を対象とする。

〈留学生選抜〉 留学生で編入学を希望する場合、「留学生編入学者選抜 学生募集要項」が別にありますので、そちらを確認してください。募集要項はインフォメーションセンター (TEL:042-797-1583) まで請求してください。

募集内容・出願資格

② 募集学群・募集人員・出願条件

学群により資格等の指定があります。出願条件となっている資格等を有していない者は出願できません。

学群・学類・専修		募集人員	出願条件		
			一般選抜	沖縄地区会場	社会人
リベラルアーツ学群		若干名			
ビジネスマネジメント学群	ビジネスマネジメント学類	若干名	実用英語技能検定準2級、TOEFL iBT®34点、TOEIC®L&R 420点、IELTS™ 3.5 ※TOEFL®・TOEIC® は公式スコアのみ有効 (ITP・IPのスコアは不可。)		
	アビエーションマネジメント学類 (エアライン・ホスピタリティ)				
	アビエーションマネジメント学類 (エアライン・ビジネス)				
グローバル・コミュニケーション学群		若干名	英語特別専修：TOEFL iBT®61点、TOEIC®L&R 600点、IELTS™ 5.5 ※TOEFL®・TOEIC® は公式スコアのみ有効 (ITP・IPのスコアは不可。) 中国語特別専修：HSK4級 日本語特別専修：日本語能力試験N2		
健康福祉学群	社会福祉専修	若干名	—	—	—
	精神保健福祉専修				
	健康科学専修				
芸術文化学群	演劇専修	若干名	—	—	—
	音楽専修				
	造形デザイン専修				
	映画専修				

※編入学者選抜における健康福祉学群保育専修の募集はありません。

③ 出願期間等の日程

日 程		一般選抜・社会人選抜	沖縄地区会場
インターネット出願	出願登録	10月15日(月)～10月22日(月)	9月21日(金)～9月28日(金)
		最終日は正午(12時)まで	
	検定料支払期限	10月22日(月)	9月28日(金)
		※出願書類の提出に必要な「郵送ラベル」は検定料の支払い後から印刷が可能となります。 出願登録後、お早めに検定料をお支払いください。	
	出願書類提出期限	10月22日(月)	9月28日(金)
		消印有効	
デジタル受験票発行開始日		11月9日(金)	10月24日(水)
		15時から順次発行 ※集合時間等の詳細については、インターネット出願サイト「マイページ」で「デジタル受験票」を 発行・印刷し、確認してください。	
試験日		11月17日(土)	10月28日(日)
試験会場		町田キャンパス	国際電子ビジネス専門学校
合格発表日		11月26日(月)	11月2日(金)
		合格者のみ正午(12時)から合格通知(振込用紙)が確認できます。	
入学手続締切日(入学金+春学期納入金)		12月5日(水)一括納入	11月9日(金)一括納入

4 選抜方法・時間割

<一般選抜・社会人選抜>

選抜方法	時間割
小論文(課題テーマ型)	10:00~11:00(60分)
面接 ^{※1} ・リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群の面接は10分です。 ・グローバル・コミュニケーション学群の面接は20分です。主な学修言語で開講される科目の履修が可能な語学力の有無を確認するため、主に 目標言語 による面接を行います。 ・芸術文化学群の面接は15分です。面接内容は、事前提出した小論文の内容を含みます。	面接開始時間は 当日指示します。

<沖縄地区会場>

選抜方法	時間割
面接 ^{※1 ※2} ・リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群の面接は10分です。面接内容は、課題図書の内容理解度を含みます。 ^{※3} ・グローバル・コミュニケーション学群の面接は20分です。面接内容は、課題図書の内容理解度を含みます。 ^{※3} 主な学修言語で開講される科目の履修が可能な語学力の有無を確認するため、主に 目標言語 による面接を行います。 ・芸術文化学群の面接は15分です。面接内容は、事前提出した小論文の内容を含みます。	面接開始時間は 当日指示します。

※1 ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコースを受験する者は日本語に加え、英語による面接も行います。

※2 面接は、対面式ではなくweb面接となります。

※3 課題図書の詳細はP.7 (6 沖縄地区会場の課題図書) で確認してください。

5 沖縄地区会場の課題図書

各学群指定の課題図書を読み、読書レポート「様式2」にまとめてください。グローバル・コミュニケーション学群の志願者は英語で記述してもかまいません。読書レポートは、全体の内容を要約したうえ、特に印象に残った点に触れながら、自分の考えや感想を600字~800字程度の範囲で論じるものです(芸術文化学群は課題図書はありません)。

※雑誌やインターネット等に掲載されている書評の一部または全体を書き写した場合は、評価対象となりません。

学 群	課題図書
リベラルアーツ学群	①『人工知能と経済の未来—2030年雇用大崩壊』井上智洋(文春新書) ②『昆虫はすごい』丸山宗利(光文社新書) *上記2冊から1冊選択のこと
グローバル・コミュニケーション学群	①『目の見えない人は世界をどう見ているのか』伊藤亜紗(光文社新書) ②『A Short History of Progress』Ronald Wright(Da Capo Press) *上記2冊から1冊選択のこと
ビジネスマネジメント学群	①『第4次産業革命!日本経済をこう変える。』竹中平蔵(PHPビジネス新書) ②『それ、なんで流行ってるの?隠れたニーズを見つけるインサイト思考』原田曜平(ディスカヴァー携書) *上記2冊から1冊選択のこと
健康福祉学群	『人権読本』鎌田慧(岩波ジュニア新書)

6 出願書類について

詳細はP.8 (3.出願書類) で確認してください。

7 合格発表について

P.13 (1.合否照会・合格通知(振込用紙)) で確認してください。

8 沖縄地区会場の所在地

会場名	住所
国際電子ビジネス専門学校	〒900-0025 沖縄県那覇市壺川3-5-3

※不測の事態等により、予定通り試験ができない場合、別途案内いたします。

3. 出願書類

出願期間内に以下の書類をそろえて提出してください。書類に不備がある場合は受け付けません。
 なお、原則として、提出された書類は返却しません。

出願書類	社会人入学者特別選抜 ○…全員提出する書類 △…該当者のみ提出する書類	編入学者選抜			【記入上の注意】 注意事項をよく読み、書類を準備・作成してください。 出願書類はすべて黒のボールペンで記入してください。
		一般選抜	社会人選抜	沖縄地区会場	
1 顔写真データ (インターネット出願時にアップロード)	○	○	○	○	* インターネット出願時に「顔写真データ」をアップロードしてください。(正面、上半身、脱帽、背景無地) * アップロードできるファイル形式は、JPEG(拡張子「.jpg」「.jpeg」とPNG(拡張子「.png」)です。 * 写真は入学後の学生証写真として利用します。学校の制服やスナップ写真、画質の悪いもの等は避けてください。
2 入学志願者調書 様式1	○	○	○	○	
3 厳封 高等学校等の調査書等 (3ヶ月以内発行の最新のもの)	○	—	—	—	* 高等学校等の在学中または卒業後に留学した場合は、留学先の成績証明書を添付してください(コピー可)。 * 高等学校卒業程度認定試験合格者(旧大検含む)は文部科学省生涯学習政策局発行の「合格成績証明書」(合格証明書ではありません)を提出してください。 * 外国の高等学校を卒業(見込み)の者は、卒業(見込み)証明書(Diploma)(原本)、成績証明書(原本)を提出してください。日本語・英語表記以外のものには日本語訳を添付すること。 * 大学、短期大学、専門学校等の卒業者も、高等学校等の調査書等を必ず提出してください。 * 調査書を取得できない場合は、次の3つの書類を提出してください。 ①「調査書が高校で発行できない旨が明記された文書」②「卒業証明書」③「単位修得証明書」
4 厳封 最終出身校の成績証明書 など	—	○	○	○	* 大学、短期大学、専門学校・高等専門学校等の成績証明書を提出してください。 なお、入学後に「単位認定」の審査があるので、最終の成績証明書を入学時まで用意しておいてください。 * 日本語・英語表記以外のものには日本語訳を添付すること。
5 研究目標レポート	—	○	○	○	* 「これまでの学生生活で、主としてどのようなテーマや分野を研究・学習してきたのか」「志望する学群(専攻プログラム・コース・専修)に編入した場合、ゼミ等を通じてどんな問題を研究したいのか」について1,500字程度にまとめてください。(A4判の任意の用紙を用い、横書きワープロまたは手書き:日本語) * リベラルアーツ学群の志願者は、編入後に希望する専攻プログラム名を必ず明記してください。 * グローバル・コミュニケーション学群志願者は、希望する特別専修の言語を使用してください。英語の場合は750語程度、中国語は1,200字程度で書いてください。
6 読書レポート 様式2	△	—	—	△	* リベラルアーツ学群、グローバル・コミュニケーション学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群を受験する方のみ提出してください。 * グローバル学群の志願者は英語で記述してもかまいません。
7 志望理由書 様式3	△	—	—	—	* グローバル・コミュニケーション学群を受験する方のみ提出してください。 * 英語で記述してもかまいません。
8 活動報告書 様式4	△	△	△	△	* 芸術文化学群を受験する方のみ提出してください。 * 現在までの芸術に関する活動履歴を記載してください。 <添付書類の提出について> * 活動報告に関する添付資料の提出は任意です。資料がある場合は活動報告書に資料番号を記し、提出資料にもその番号を記入してください。提出された資料は返却できませんので、重要な資料はコピーを提出してください。また、CD、DVD等を提出する場合は、総時間を15分以内にまとめてください。
9 小論文 様式5 (原本1部、コピー1部)	△	△	△	△	* 芸術文化学群を受験する方のみ提出してください。 * 自筆で記入した原本の他、コピー(1部)もあわせて提出してください。
10 資格等の証明書	—	△	△	△	* 編入学者選抜を受験する方は、学群が指定する資格等の証明書コピー(A4判)の提出が必須です。 * 社会人入学者特別選抜でグローバル・コミュニケーション学群を受験する方は第1言語(または母語)以外の語学力(英語・中国語・日本語)を証明する資格がある場合は証明書等のコピーを提出を推奨します。
11 Airline Hospitality Course —Application Form— 様式6	—	△	△	△	* ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学群エアライン・ホスピタリティコースを受験する方のみ提出してください。

4. グローバル・コミュニケーション学群の面接方法について

グローバル・コミュニケーション学群では、語学力を測るため、複数の言語による面接試験を行います。使用する言語は以下を確認してください。面接は受験者1人、面接担当者2人で実施します。面接時間は20分です。面接では、志望動機を中心に、出願書類の内容のほか、絵や写真を見て答える質問も行います。課題図書の内容についても、選んだ本が書かれている言語で質問します。

○:面接で必ず使用する言語 △:面接で必要に応じて使用する言語

母語 ※1	入学後、 学修を希望する 主たる言語	面接で使用する言語			
		日本語	英 語	中国語	備考
日本語	日本語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	英 語	○	○	—	
	中国語	○	—	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
英 語	日本語	○	○	—	
	英 語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
	中国語	—	○	○	中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。
中国語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英 語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	—	—	—	母語は学修を希望する言語として選ぶことはできません。
上記以外 の言語	日本語	○	△	—	日本語のほか、必要に応じて英語でも面接を行います。
	英 語	△	○	—	英語のほか、必要に応じて日本語でも面接を行います。
	中国語	△	△	○	中国語のほか、必要に応じて日本語、英語でも面接を行います。 中国語未習者の場合は、中国語による面接は免除します。

※1 「母語」とは、教科学習に最も取り組みやすい言語を指します。

[注意事項]

- 面接で使用する言語は、上記の表に基づきますが、日本語が母語でない場合は、入学後に学修を希望する主たる言語のほか、必要に応じて日・英・中のうち一つか二つの言語でも面接を行うことがあります。

個別の入学資格審査

「個別の入学資格審査」について

本学では、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があるかを判断する「個別の入学資格審査」を出願前に行います。

※P.2、5 (① 出願資格)のうち個別の入学資格審査での入学を希望する者のみ。その他の資格で出願する方の「個別の入学資格審査」は不要です。

① 個別の入学資格審査の内容

申請者の学習歴、実務経験及び取得している資格等を、申請された書類を基に総合的に審査し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められるかについての判定を行います。具体的には以下の事項が審査対象の内容です。

- 専修学校、各種学校等の課程の修了などの学習歴
- 社会における実務経験や取得した資格等
- 大学の科目等履修生として修得した一定の単位
- その他、旧制諸学校で修了した課程の内容

② 提出書類

1. 桜美林大学個別の入学資格審査申請書 様式7
2. 教育施設長発行の調査書または成績証明書 厳封
3. 教育施設の概要（教育施設の概要が明記されているもの）
4. 教育施設の規則（教科目、授業時間数及び卒業要件の明記されているもの）
5. 教育施設の出身者進路概要（大学等進学者及び就職者の人数が把握できるもの）

※3.教育施設の概要に規則や進路概要の事項が記載されている場合は、4.及び5.の提出は不要です。

※封筒の表に「入学資格審査申請書類在中」と朱書き、書留郵便にてインフォメーションセンターに提出してください。

③ 提出期限

	社会人入学者特別選抜・編入学者選抜
提出期限 (必着)	2018年9月7日 (金) 消印有効

※「個別の入学資格審査」の結果は、申請書類受領後2、3週間程度で申請者本人宛に文書で通知します。

【注意事項】

「個別の入学資格審査」は入学者選抜試験を免除するものではなく、出願資格の有無を判定するものです。

判定の結果「出願資格有」と認定された場合は、定められた出願期間内に所定の出願手続きをし、入学者選抜試験を受ける必要があります。

なお、「個別の入学資格審査」の結果は、本学の該当する入学者選抜にのみ効力が及ぶものです。

〈お問い合わせ・書類提出先〉

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 インフォメーションセンター
TEL : 042-797-1583

出願手続

1. 出願上の注意

1. 受験時および修学時に特別な配慮・支援を要する志願者は、事前に相談してください。事前相談を希望される方は、受験生サイト(本学Webサイト)より申請書をダウンロードのうえ、必要事項を記入し入学部宛にメール、または郵送にて送付してください。書類を確認次第、大学より事前相談の日程等に関する連絡を差し上げます。なお、出願の**1ヶ月前まで**に必ず事前相談の手続きを行ってください。
事前相談がない場合、出願をお断りする場合がありますので、予めご了承ください。
ご質問、ご不明点がありましたらインフォメーションセンター(TEL:042-797-1583)まで連絡してください。
(送信先)
メール:info-ctr@obirin.ac.jp 郵送:〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林大学 入学部
2. 出願書類に不備がある場合は受け付けることができません。また、一度提出した書類等は原則、返却できませんので予めご了承ください。
3. インターネットでの出願完了後に志望学群、専修(健康福祉学群・芸術文化学群)、選抜方式の変更はできません。出願時に学群、専修ならびに選抜方式に間違いがないかを必ず確認してください。

2. 検定料

検定料 35,000円

検定料は以下の2つの支払い方法があります。インターネットで出願をする際に選択してください。なお、検定料の他に事務手数料が別途かかります。

1. 指定のコンビニエンスストアでの支払い
2. クレジットカードを利用した支払い
※一度納入された検定料は返金できません。

3. デジタル受験票

1. インターネット出願サイトの「マイページ」で「デジタル受験票」を指定日より順次発行します。
2. 「デジタル受験票」は印刷ボタンより印刷し、試験当日に必ず持参してください(A4サイズ推奨)。
また、集合時間等の詳細はデジタル受験票で確認してください。
3. 「デジタル受験票」の印刷を忘れた場合は、本人確認資料を当日持参のうえ、インフォメーションセンターへお越しください。
沖縄地区会場の受験者は、本学係員へ申し出てください。

4. 試験当日の注意

1. 自宅等で「デジタル受験票」を印刷し、試験当日に必ず持参してください。
2. 町田キャンパスでの受験者は、インフォメーションセンター（裏表紙参照のこと）前にて本学係員から試験場案内・注意のプリントを必ず受け取ってください。地区会場の受験者は、各会場の案内に従ってください。
3. 集合時間までに予め指定された控室もしくは試験室に入り、各自の受験番号が表示されている座席に着いてください。出欠の確認をとり、受験上の注意を伝達します。集合時間に遅れると受験に支障をきたしかねませんので、十分注意してください。
4. 集合時間から50分以上経過した場合は、原則受験することができません。不測の事態により、遅刻の恐れがある場合は、インフォメーションセンター（TEL:042-797-1583）へ電話を入れ、担当者の指示に従ってください。
5. 筆記試験において、机の上に置けるものは黒鉛筆、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）、目薬です。これ以外の所持品を使用または置いている場合には、解答を一時中断させて試験終了まで預かることがあります。なお、筆記用具の貸し出しはしません。
6. 携帯電話、スマートフォン、PHS、アラーム付時計等電子機器の試験室内での使用は禁止です。
7. 試験当日、試験場付近や下車駅で合格電報や下宿・アパート等の勧誘をしている場合がありますが、本学とは一切関係がありませんので注意してください。

5. 受験生の宿泊施設

本学受験の際に宿泊施設を利用される場合は、下記旅行代理店へお問い合わせください。

■ 京王観光(株) 神奈川北支店町田営業所

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 桜美林学園内

TEL:042-798-5030 FAX:042-798-5031

E-mail:kanakitam01@keio-kanko.co.jp <http://www.kingtour.com/group/facility/?id=11>

● 営業日/月～金〔土・日曜、祝日は休業〕

● 営業時間/ 10:00 ～ 18:00

合否照会・入学手続

1. 合否照会・合格通知(振込用紙)

1. インターネット出願サイトの「マイページ」にログインし、「合否照会」ボタンをクリックしてください。
合否結果が表示されます。
2. 合否については、上記の合否照会方法で確認してください。電話やメールでのお問い合わせには、一切お答えできません。
3. 合否照会は合格発表日の10時から確認できます。
4. 合格者のみ、合格発表日の正午(12時)より「合格通知(振込用紙)」が印刷可能になります。
インターネット出願サイトの「マイページ」にログインして印刷し、入学手続をしてください。
合格通知(振込用紙)の郵送はありませんので、注意してください。

2. 入学手続等(学納金の納入について)

1. 「合格通知」とともに学納金の振込用紙をインターネット出願サイトの「マイページ」より印刷してください。合格発表日の正午(12時)より「合格通知(振込用紙)」が印刷可能になります。納入期限までに入学金と春学期分の授業料等を、銀行振込にて納入してください。合格通知(振込用紙)の郵送はありませんので、注意してください。
ゆうちょ銀行、機械(ATM、インターネットバンキング等)による振り込みは、受験番号の入力漏れ等により本人確認ができないことがあるため、ご遠慮いただいています。やむを得ずご利用になる場合は、「受験番号」と「受験生氏名」を振込依頼人欄に必ずご入力ください。
また、本学窓口でも取り扱いできません。
2. 期限内に前項の納入金が無い場合は、入学の意志なしとみなします。また、期限後のお振り込みは一切受け付けません。
3. 入金確認後、「入学許可証」等を郵送いたします。
合格発表後、住所に変更がある場合は、速やかにインフォメーションセンター(TEL:042-797-1583)に連絡してください。
4. 入学までに卒業証明書を提出してください。ただし既卒者で卒業が成績証明書により確認できる場合の提出は不要です。

■ 入学辞退について

やむを得ない理由により入学を辞退する場合は、インフォメーションセンター(TEL:042-797-1583 受付 平日/9:00~17:00)へ連絡し、所定の「入学辞退届」を取り寄せてください。必要事項を記入のうえ、2019年3月末日までに提出してください。受理された者に入学金および返金にかかる手数料を差し引いた納入金を返金します。
いかなる理由でも入学金の返金はできません。

3. 学納金

2019年度入学者学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	457,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,364,000円
2年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
3年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
4年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	50,000円	682,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,314,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	457,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,364,000円
2年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
3年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
4年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	50,000円	682,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,314,000円

※グローバル・コミュニケーション学群は別途留学費用(渡航費・生活費・海外旅行保険費用等)がかかります。

■ ビジネスマネジメント学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	457,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,364,000円
2年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
3年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	—	632,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,264,000円
4年次	—	150,000円	457,000円	25,000円	50,000円	682,000円	150,000円	457,000円	25,000円	632,000円	1,314,000円

※アプリケーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコースは別途留学費用がかかります。

※フライト・オペレーションコースの学納金は別途定められています。

※ビジネスマネジメント学類の「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります

■ 健康福祉学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	517,000円	25,000円	—	792,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,484,000円
2年次	—	150,000円	517,000円	25,000円	—	692,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,384,000円
3年次	—	150,000円	517,000円	25,000円	—	692,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,384,000円
4年次	—	150,000円	517,000円	25,000円	50,000円	742,000円	150,000円	517,000円	25,000円	692,000円	1,434,000円

■ 芸術文化学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金 (卒業諸費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
1年次	100,000円	150,000円	557,000円	25,000円	—	832,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,564,000円
2年次	—	150,000円	557,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,464,000円
3年次	—	150,000円	557,000円	25,000円	—	732,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,464,000円
4年次	—	150,000円	557,000円	25,000円	50,000円	782,000円	150,000円	557,000円	25,000円	732,000円	1,514,000円

【全学群共通】

※教職課程・博物館学芸員課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。

※履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

※スクールバスは、2019年度より新宿キャンパスの開設に伴い、路線バスの乗車料金に準じた受益者負担(有料化)に移行となります。

2019年度入学者(編入学)学納金一覧

■ リベラルアーツ学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金(同窓会費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
3年次	100,000円	125,000円	457,000円	25,000円	—	707,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,314,000円
4年次	—	125,000円	457,000円	25,000円	10,000円	617,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,224,000円

■ グローバル・コミュニケーション学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金(同窓会費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
3年次	100,000円	125,000円	457,000円	25,000円	—	707,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,314,000円
4年次	—	125,000円	457,000円	25,000円	10,000円	617,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,224,000円

■ ビジネスマネジメント学群(アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコースを除く)

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金(同窓会費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
3年次	100,000円	125,000円	457,000円	25,000円	—	707,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,314,000円
4年次	—	125,000円	457,000円	25,000円	10,000円	617,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,224,000円

■ ビジネスマネジメント学群アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコース

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金(同窓会費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
2年次	100,000円	125,000円	457,000円	25,000円	—	707,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,314,000円
3年次	—	125,000円	457,000円	25,000円	—	667,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,214,000円
4年次	—	125,000円	457,000円	25,000円	10,000円	677,000円	125,000円	457,000円	25,000円	607,000円	1,224,000円

※アビエーションマネジメント学類エアライン・ホスピタリティコースは別途留学費用(渡航費・留学先大学授業料・宿泊費等)約100万円程度がかかります。

※「実習・演習科目」については別途費用がかかる場合があります。

■ 健康福祉学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金(同窓会費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
3年次	100,000円	125,000円	517,000円	25,000円	—	767,000円	125,000円	517,000円	25,000円	667,000円	1,434,000円
4年次	—	125,000円	517,000円	25,000円	10,000円	677,000円	125,000円	517,000円	25,000円	667,000円	1,344,000円

■ 芸術文化学群

項目	春学期						秋学期				年次別総計
	入学金	施設設備費	授業料	教育充実費	委託徴収金(同窓会費)	納入金合計	施設設備費	授業料	教育充実費	納入金合計	
3年次	100,000円	125,000円	557,000円	25,000円	—	807,000円	125,000円	557,000円	25,000円	707,000円	1,514,000円
4年次	—	125,000円	557,000円	25,000円	10,000円	717,000円	125,000円	557,000円	25,000円	707,000円	1,424,000円

【全学群共通】

※教職課程・博物館学芸員課程を履修する方は学納金のほかに別途費用が必要となります。そのほか、資格の取得に別途費用が必要となる場合があります。

※履修する科目によっては別途教材費等が必要となります。

※スクールバスは、2019年度より新宿キャンパスの開設に伴い、路線バスの乗車料金に準じた受益者負担(有料化)に移行となります。

その他

1. 奨学金制度等

奨学生の推薦・選考は、学力および家計状況等を基に行います。

● 学業優秀者奨学金 募集人数54人(2~4年次生) / 給付

学士課程2~4年次生が対象で、在学中の学業成績が特に優秀な学生に対して、各学年18人、1人につき10万円を給付します。他の学内給付型奨学金との併給はできません。

● 独立行政法人日本学生支援機構奨学金 / 貸与

人物・学業ともに優れ、経済的理由により修学に困難な学生を対象とした、学生本人名義の貸与型奨学金です。

● 民間育英団体奨学金

民間育英団体が実施している奨学金制度です。募集は大学を通じて行うものと民間団体が直接行うものがあります。

● 桜美林大学提携教育ローン

① 三井住友銀行提携教育ローン 三井住友銀行提携の一般の教育ローンより有利な条件を設定した融資制度です。

② オリентコーポレーション「学費サポートプラン」 株式会社オリентコーポレーション提携の入学金・学納金・寮費等を立替払いとする融資制度です。

③ ジャックスの教育ローン 株式会社ジャックス提携の入学金・学納金等を立替払いとする融資制度です。

■ 奨学金制度等についての問い合わせ先

- 学生課 (TEL:042-797-3128 受付 平日/9:00~17:00)

2. 学生寮

入寮を希望される方は、合格通知(振込用紙)に添付されている「桜美林大学学生寮のご案内」を確認のうえ、申し込みをしてください。

- ### ■ 学生寮についての問い合わせ先
- 国際寮……TEL:042-750-5564
 - 第二国際寮……TEL:042-730-5015
 - 啐啄寮……TEL:042-798-5061
 - 桜寮……TEL:042-797-3957

寮名	国際寮	第二国際寮	啐啄寮(男子アスリート寮)	桜寮(女子寮)
収容定員	245人(ワンルーム)	84人(ワンルーム)	60人(ワンルーム)	108人(一室3人)
新規入居者数(目安)	120人(留学生90人)	40人(留学生25人)	15人	30人
食事	食事無し	食事無し	2食付(含土・日)	3食付(日・祝は朝・夕)
寮費	月額(半期計)	月額55,000円 (半年ごとに請求)	月額55,000円 (半年ごとに請求)	月額70,000円 (半年ごとに請求)
	年間計	660,000円 ※退去時清掃費用20,000円(入寮時のみ)、 管理費5,000円(入寮時のみ)、 デポジット費55,000円(入寮時のみ) ※8月、2月、3月分は在寮希望者のみ請求	660,000円 ※退去時清掃費用20,000円(入寮時のみ)、 管理費5,000円(入寮時のみ)、 デポジット費55,000円(入寮時のみ) ※8月、2月、3月分は在寮希望者のみ請求	840,000円 ※食費込み
連絡先	042-750-5564	042-730-5015	042-798-5061	042-797-3957
所在地	相模原市中央区淵野辺3-5-41	相模原市中央区鹿沼台1-10-22	町田市矢部町2582-1	町田市矢部町2693-39
アクセス	JR横浜線淵野辺駅北口まで徒歩約4分 町田キャンパスバス約8分	JR横浜線淵野辺駅南口まで徒歩約3分 町田キャンパスバス約8分	町田キャンパスまで 徒歩約10分	町田キャンパスまで 徒歩約3分

(2018年4月現在)

3. 住まい紹介

本学の新生、在学生の住まい(下宿、アパート)に関する紹介は、株式会社ナルドと桜美林学園消費生活協同組合が行っています。

■ 株式会社ナルド

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758
(月～金/9:00～18:00)
TEL:042-797-9944 FAX:042-797-2046
URL:<http://www.narudo.co.jp>

■ 桜美林学園消費生活協同組合 (免許証番号 東京都知事(2)第80794号)

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 (学而館隣)
TEL:042-797-7600 (住まい関係専用電話、月～金/10:00～17:00)
TEL:042-797-0543 (生協代表電話) FAX:042-797-2652
URL:<http://www.univcoop.jp/obirin/> E-mail:coop.ml@obirin-coop.or.jp

4. 入学後の学生生活について

本学では、健康増進法や喫煙防止教育の推進等、各省庁や社会からの要望を受け、大学の学生並びに教職員の健康を増進するため、学内を全面禁酒、禁煙としています。

入学後の学生生活については、以下「学則」および「学生生活ガイド」の内容を必ず確認してください。なお、学則や学生生活上のルールは変更することがありますので、入学後改めて確認してください。

■ 学則

https://www.obirin.ac.jp/campus_life/rules.html

■ 学生生活ガイド

https://www.obirin.ac.jp/campus_life/student_life_guide.html

5. 個人情報の取り扱いについて

出願書類に記入された個人情報は「個人情報保護の観点」をもって入学者選抜での審査ならびに今後の入学者選抜における基礎資料として使用します。個人情報を本人の承諾なしに第三者(委託業務先を除く)に提供することはありません。

合格のうえ、入学手続きを完了された方には、入学関係書類を学内関係部局から送付いたしますので、必要に応じて住所等の情報を提供いたします。入学後の教育支援等においても「個人情報保護の観点」にたち、これらの情報を厳重かつ慎重に取り扱います。

6. ビジネスマネジメント学群のキャンパス移転について

2021年の学園創立100周年に向けた教育環境整備の一環として、ビジネスマネジメント学群は2019年4月に新宿キャンパスに移転予定ですので、ご理解のうえ、ご出願ください。

なお、入学選抜の試験会場は町田キャンパスとなりますので、お間違いのないよう注意してください。

■ 新宿キャンパス開設予定地

東京都新宿区百人町3丁目23-1番
(アクセスマップは裏表紙で確認してください)